

NCC HEADLINE

【日本キリスト教協議会 最新情報】 毎月 21 日付に掲載

2027年度 ドイツ・プロテスタント教会奨学金募集開始 世界を広げる経験

NCCドイツ語圏教会関係委員会は、2027年度ドイツ・プロテスタント教会奨学金募集要項を公開しました（NCCホームページ「ニュース」参照）。

本奨学金は、ドイツの福音主義諸教会（EKD）と深い関わりのある国際機関「世界にパンを（Brot für die Welt）」によるもので、キリスト教の幅広い領域で活躍する若者を育成することを目的としています。また、日本とドイツの教会交流の促進、さらに将来にわたってエキュメニカルな働き及び宣教活動に貢献できる人材養成も目的としています。したがって、本奨学金の受給には、NCCのドイツ語圏教会関係委員会への応募と当委員会からの推薦が不可欠であり、ドイツに直接応募することはできません。応募者の留学計画によっては、要項に記載されていない条件が提示される場合があります。そのため、希望者は遅くとも2026年10月中旬までに必ず当委員会にご相談ください（dknccj@gmail.com）。本奨学金ではドイツの大学神学部 に在籍することを基本としていますが、奨学生 の関心によりさまざまな体験と学びが可能です。

本奨学金では、「世界にパンを」による奨学生全員を対象とした研修プログラムが開催され、ドイツや世界の教会の今日の課題、社会や国際的な場所での取り組み、奨学金団体の理念と活動内容について、他国の奨学生たちと共に学ぶ機会が与えられています。日本からの奨学生には、必ずこれらの研修



学生寮でのペンテコステ礼拝（筆者提供）

に参加して報告していただきます。

私自身、この奨学金によりミュンヘン大学神学部で学ぶ機会を与えられました。ミュンヘン大学には、カトリック神学部とプロテスタント神学部の他に正教会の神学専攻もあり、三つの教派の教授陣と学生たちが一つの教室で、共通の神学的な主題について学ぶエキュメニカルなゼミナールがあり、とても刺激的でした。また、私は教会関係の学生寮に住んで、20カ国以上の多様な学問領域で学ぶクリスチャンの学生たちと知り合うことができました。毎週月曜日には全員で夕食を共にし、外部講師を囲んでディスカッションが行われましたが、当時ミュンヘン大学神学部で教鞭をふるわれていたシビルスキー（Schibilsky）教授（実践神学担当）が、神学は「人生に寄り添う生の技法であり、人生の真ただ中で人間と福音とを結びつけるところから始まる」と語っていたことが心に残っています。

国際的に英語が主流となりつつある時代に、加えてドイツ語を学ぶ苦労があります。しかし、日本語と同様に、各言語を通して見えてくる世界、そこから与えられる豊かな出会いがあります。また、そのような体験と学びが国内外でのエキュメニカルな協働を促進することを願っています。多くの方に、この奨学金のチャンスをぜひ利用してもらいたいと思います。

（小田部進一＝こたべ・しんいち、関西学院大学、NCCドイツ語圏教会関係委員会奨学金担当）

【主催・共催集会】

*詳細は NCC ホームページのニュースをご覧ください。Facebook でも案内しています。

■第 46 回ウクライナを覚えて平和を祈るキリスト者祈祷会 6月 24 日（水）後 8 時～8 時 45 分、オンライン。日本カトリックいのち・平和・人権委員会、平和を実現するキリスト者ネット、NCC の共催。

■ヒューライツセミナー 2026「気づいていますか？身近な教会と人権のこと」7月 4 日（土）後 1 時～3 時、日本キリスト教会館 2 階・NCC フリースペース（東京都新宿区）。要申込。NCC 部落差別問題委員会。

■アジア・エキュメニカル青年大会参加・オンライン報告会、7月 11 日（土）前 11 時～12 時。要申込。

■NCC 連続学習会「朝鮮半島の平和と統一 日本教会と在日教会の歩みと課題」、第 1 回 7 月 11 日（土）、第 2 回 7 月 25 日（土）。いずれも後 1 時半～3 時、日本キリスト教会館 4 階会議室（東京都新宿区）とオンライン。要申込。参加費 500 円。

【委員会など】

■7月 6 日（月）靖国神社問題委員会

■7月 8 日（水）女性委員会

■7月 10 日（金）在日外国人の人権委員会

■7月 14 日（火）第 10 回常議員会

■7月 16 日（木）平和・核問題委員会

朝鮮半島の平和と統一を学ぶ
公開学習会 7 月に開催

朝鮮半島の平和と統一をめぐる状況が大きく変化しています。朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は近年、韓国との統一を目指す従来の方針を転換し、両国を別々の国家と位置づける姿勢を明確にしています。こうした中、日本キリスト教協議会（NCCJ）と在日大韓基督教会（KCCJ）は、2026年度公開学習会「朝鮮半島の平和と統一日本教会と在日教会の歩みから考える」を開催します。

朝鮮半島の分断は、日本の植民地支配の歴史と深く

関わっています。第二次世界大戦後、38度線による南北分断が生まれ、さらに1965年の日韓条約によって日本は韓国とのみ国交を結びました。そのことは、朝鮮半島の分断を固定化し、日本の植民地支配責任を曖昧にする側面も持っていました。

そのような歴史を背景に、NCCJとKCCJは韓国基督教教会協議会（NCCK）や世界教会協議会（WCC）と共に平和と和解のための歩みを続けてきました。特に1984年、御殿場の東山荘で開催されたWCC主催「東北アジアの正義と平和会議」を契機に始まった一連の取り組みは、「東山荘プロセス（Tozanso Process）」として知られています。直近ではNCCJとKCCJが2019年に

合同訪朝団を派遣し、朝鮮キリスト教連盟との交流を行うとともに、NCCJからは日本の植民地支配に対する謝罪文を手渡しました。

今回の学習会は、昨年開催した「日韓条約60年とエキュメニカル運動」連続学習会の学びを受け継ぐものでもあります。第1回（7月11日）は山本俊正・元NCC総幹事、第2回（7月25日）は金柄鎬・元KCCJ総幹事が講師を務めます。統一が遠のいているようにも見える今だからこそ、日本教会と在日教会が歩んできた和解と対話の歴史を振り返り、これからの平和への責任を考える機会にしたいと思います。ぜひ、ご参加ください。（大嶋果織 おおしま・かおり＝日本基督教団、NCC総幹事）



NCC ホームページ <https://ncc-j.org/> Facebook 日本キリスト教協議会 TEL 03-6302-1919 FAX03-6302-1920 Email general@ncc-j.org
郵便振替 00180-4-75788 加入者名 日本キリスト教協議会

ブラジルの子どもたちを覚えて
平和のきずな献金2026

5月27日、NCCフリースペースにて、ブラジル・サンパウロ市から一時帰国されていた小井沼眞樹子さん（「ラテンアメリカ・キリスト教」ネット代表）＝写真＝と教育部スタッフとの懇談の時を持ちました。

教育部は2018年度「平和のきずな献金」から、小井沼さんがかつて宣教師として働かれたオリンダ市のアルト・ダ・ボンダージ教会の教育プログラム——主に空手教室とギター教室——を支援しました。2026年度は上記に加え、サルバドール市にあるヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会の教育プログラム——自尊感情を高めるストーリーテリング活動——への支援も加わります。このプログラムはまだ始まったばかりですが、専門家を交えて熱心に取り組んでいるとのこと。今回の懇談では、それぞれの働きの現状や支援のあり方について具体的に話し合いました。

昨秋、私は「ラテンアメリカ・キリスト教」ネットの研修に参加し、ブラジルに3週間滞在する機会を得ました。その際、両教会の礼拝に出席し、教会スタッフや子どもたち、また教育プログラムに子どもを通わせている保護者の方々ともお会いしました。

両教会の周辺には、基礎的な生活インフラさえ十分に整ってい



ない地域が広がっています。家庭訪問に同行した際、温かく迎え入れていただきましたが、水道がなく週に数回給水されるだけという地域もありました。狭い住居に大勢で生活しているので、子どもたちの居場所はほとんどありません。夜フラフラと外に出れば、すぐにドラッグの売人に声をかけられてしまいます。子どもたちのすぐ近くに、暴力や犯罪が待ち構えていると言えます。

そうした中で、教会の教育プログラムは子どもたちが安心して集い、自分を受け止めてくれる大人や仲間と出会うことのできる大切な居場所となっています。保護者の方々がプログラムへの感謝を語っておられたのも、そのような安全な場と人とのつながりを得られるからでしょう。この働きを継続していくことの重要性を実感させられました。現地の教会員や地域の人々と信頼関係を保ち続けておられる小井沼さんのご協力に感謝します。

どの国でも、子どもたちが思春期を乗り越えていくのは簡単ではありません。アジア・アフリカ・南米だけでなく日本でも同様でしょう。しかし、どこにしようとも、投げやりな気持ちから一歩踏み出し、安心して楽しい出会いの場が見つかった子どもは自分を大切にできるのではないかと思います。ブラジルの2つの教会で、平和のきずな献金が豊かに用いられますようにと願っています。（比企敦子＝ひき・あつこ、NCC教育部理事）

【協力・後援集会】

*詳細は NCC 教育部ホームページ「集案内」をご覧ください。

■「子どもと聖書とエキュメニカル運動」検証プロジェクト主催・AVACO 視聴覚教材展 8月 1 日（土）～9 日（日）、教文館 3 階ギャラリー・ステラ（東京都中央区）。無料、自由観覧。

■同プロジェクト主催・第 7 回公開講座 8 月 1 日（土）後 2 時～3 時半、教文館 3 階ギャラリー・ステラ（同上）＋オンライン。有料、要申込。／第 8 回公開講座 9 月 5 日（土）後 2 時～3 時半、日本キリスト教会館（東京都新宿区）＋オンライン 4 階会議室。

■全国キリスト教学校人権教育研究協議会実行委員会主催「第 36 回全国キリスト教学校人権教育セミナー」8 月 11 日（火）～12 日（水）、カトリック麹町聖イグナチオ教会信徒会館（東京都千代田区）、13 日はオプション・フィールドワーク。有料、要申込（締切 7 月 15 日）。



NCC 教育部 ホームページ <https://nccj-edu.jimdofree.com/> TEL/FAX 03-3203-0731 Email nccjedu@gmail.com
郵便振替 00150-8-98713 加入者名 日本キリスト教協議会教育部